

新規事業採択時評価結果（令和4年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
 担当課長名：長谷川 朋弘

事業の概要

事業名	一般国道56号 四国横断自動車道 宿毛内海道路（宿毛新港～一本松）	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自：高知県宿毛市樺 至：愛媛県南宇和郡愛南町中川	延長	4.7km		
事業概要	宿毛内海道路（宿毛新港～一本松）は、四国横断自動車道の一部を構成する道路で、高知県宿毛市樺から愛媛県南宇和郡愛南町中川に至る延長4.7kmの自動車専用道路である（四国横断自動車道は徳島県阿南市から高知県四万十市に至る阿南四万十線と愛媛県宇和郡愛南町から愛媛県大洲市に至る愛南大洲線で構成される高規格道路である）。				
事業の目的、必要性	当該区間の整備により、南海トラフ地震発生時に住民の避難や緊急物資の輸送を支える「命の道」として機能する信頼性の高い道路ネットワークを形成するとともに、都市部や空港、高次救急医療機関等へのアクセス向上により、四国西南地域における観光振興や地域産業、緊急搬送などの医療活動を支援するものである。				
全体事業費	約270億円	計画交通量	約3,500台/日		
事業概要図					

事業評価結果

費用便益分析	B/C	1.4 (0.3)	総費用 14,124億円 (事業費: 12,961億円 維持管理費: 923億円 更新費: 241億円)	総便益 19,603億円 (走行時間短縮便益: 16,738億円 走行経費減少便益: 2,305億円 交通事故減少便益: 560億円)	基準年 令和3年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.4 (交通量 -10%)	B/C=1.4 (交通量 +10%)	
		事業費変動	B/C=1.4 (事業費 +10%)	B/C=1.4 (事業費 -10%)	
	事業期間変動	B/C=1.4 (事業期間 +20%)	B/C=1.4 (事業期間 -20%)		
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策	-	注目すべき影響はない。	
		事故対策	-	注目すべき影響はない。	
	歩行空間	-	注目すべき影響はない。		
	社会全体への影響	住民生活	◎	【安全・安心な医療アクセスの確保】 ・宿毛市から第三次救急医療機関への搬送時間短縮や安静搬送により、患者への負担を軽減。 [宿毛市役所新庁舎から市立宇和島病院への所要時間] 現況 64分 ⇒ 整備後 50分(約14分短縮) [宿毛市の第三次救急医療圏域の60分圏域人口カバー率が増加] 現況 約300人(1%) ⇒ 整備後 約3,100人(15%) [国道56号(高知県宿毛市樺～愛媛県南宇和郡愛南町中川)のR<150mのカーブ区間減少] 現況 16箇所 ⇒ 整備後 0箇所	
		地域経済	◎	【観光振興や産業振興に寄与】 ・都市部から県境を跨いだ地域へのアクセス強化により、観光地への移動時間短縮や工業流通団地等への輸送効率化に寄与。 [高知市から愛南町役場への所要時間] 現況 123分 ⇒ 整備後 120分(約3分短縮) [松山空港から宿毛市役所新庁舎への所要時間] 現況 142分 ⇒ 整備後 128分(約14分短縮)	
災害		◎	【防災機能の強化・災害に強いまちづくりを支援】 ・長期浸水で孤立する要救助者の救出、長期浸水解消に向けた止水・排水作業のアクセス確保に寄与。 [宿毛市長期浸水地区(深浦・池島地区)における要救助者救出日数の短縮] 現況 最大20日 ⇒ 整備後 最大1日(19日短縮) [宿毛市長期浸水地区(深浦・池島地区)における長期浸水解消日数の短縮] 現況 最大41日 ⇒ 整備後 最大33日(8日短縮)		
環境		-	注目すべき影響はない。		
地域社会	◎	・宿毛新港IC周辺の防災拠点を中心とする防災まちづくりや、愛媛県方面からの宿毛市中心市街地への救援ルート確保に寄与。			
事業実施環境	◎	・計画段階評価手続き完了(H31.2.28) 都市計画決定手続き完了(R3.12.10) ・高知県知事、愛媛県知事や沿線自治体首長より早期事業化を要望			

関係する地方公共団体等の意見

【愛媛県知事】
 事業の予算化に同意するとともに、下記のとおり回答します。
 一般国道56号(四国横断自動車道)「宿毛内海道路」は、南海トラフ地震時等の大規模災害発生時における広域避難や迅速な救援活動、円滑な緊急輸送などを支える「命の道」であるとともに、産業や観光の振興を図る上で重要な役割を果たす「地方創生の道」であることから、県民一同、早期完成を待ち望んでいます。
 本県としましては、埋蔵文化財調査の体制確保や、用地取得、トンネル工事等に伴い発生する建設発生土の処分に係る調整等に最大限協力することとしており、事業が円滑に推進されるよう、地元沿線自治体である愛南町と連携し取り組みます。
 つきましては、「宿毛内海道路」の「宿毛新港～一本松」間の令和4年度新規事業としての予算化に特段の配慮をお願いします。

【高知県知事】
 一般国道56号(四国横断自動車道)「宿毛内海道路(宿毛新港～一本松)」事業の予算化に同意いたします。
 四国地方の高速道路網の骨格をなす四国8の字ネットワークを構成する四国横断自動車道と阿南安芸自動車道は、平常時には、県西部並びに東部の地域経済の活性化を支える重要な社会資本として、災害時には、円滑な救援活動を確保する命の道として重要な役割を担うことから、県民一同、早期完成を待ち望んでいます。
 この区間が事業化され整備が進めば、県西部では宿毛湾の養殖マグロやブリ、足摺沖の清水サバなど水産物の販路拡大や観光スポットへの愛媛県側からの誘客促進に向けて大きく前進します。
 これら「命の道」「産業振興や観光振興」は現在の評価指標以上の大きな効果があり、地域の安全・安心を早期に確保することが可能となります。大規模地震発生時の避難・救援などの効果等についても考慮いただきますようお願いいたします。
 本県としましては、埋蔵文化財調査や用地買収(地籍調査含む)の早期完了、建設発生土の有効利用に係る調整など、事業が円滑に推進できる環境を早期に整えられるよう、沿線自治体や関係機関と連携し最大限努力するとともに、スピード感を持って取り組んでまいります。
 宿毛内海道路(宿毛新港～一本松)につきましては、本線の事業進捗に合わせた宿毛新港IC(仮称)へのアクセス道路の整備を行うとともに、宿毛市が進めている防災拠点の整備など、関連する事業の推進に取り組んでまいります。
 今後も、地域の産業・観光振興や災害時の備えを高めるための取り組みを後押しし、地域経済の活性化や地域防災力の向上につなげてまいりますので、「宿毛内海道路(宿毛新港～一本松)」を令和4年度の新規事業箇所として着手していただきますようお願いいたします。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件

・費用対便益：便益が費用を上回っている。
 ・手続きの完了：計画段階評価手続き完了(平成31年2月28日)、都市計画決定手続き完了(令和3年12月10日)

採択の理由

費用便益が一体評価で1.4と便益が費用を上回っているとともに、都市計画手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。
 また、宿毛内海道路(宿毛新港～一本松)の整備により防災機能の強化・災害に強いまちづくりを支援し、観光振興や産業振興支援、安全・安心な医療アクセスの確保など事業の必要性・効果は高いと判断できる。
 以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※B/Cの上段はいよ小松JCT～高知JCTを対象とした場合、下段()書きの値は事業化区間を対象とした場合の費用便益分析結果。

新規事業採択時評価結果（令和4年度新規事業化箇所）

事業評価結果（防災機能）

事業の必要性		
<p>南海トラフ地震による深刻な被害が予測される地域において、国道56号の代替路として円滑な救援活動・物資搬送を支援するとともに、広域観光周遊ルートを活用した地域の観光振興や養殖マダイに代表される地域産業支援、高度救急医療などを行える第三次救急医療機関への搬送時間短縮などに寄与するものである。</p>		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・宿毛市では、南海トラフ地震により広範囲で地盤沈下が発生し、中心市街地周辺で長期浸水被害が発生すると想定される。市内中心部へ向かう主要な幹線道路は国道56号に限定されており、道路啓開や救助・救出、長期浸水の解消に時間を要する。 ・宿毛新港IC付近は、行政機関の高台移転先や長期浸水復旧のアクセスルートとなるなど防災拠点が集中しており、緊急輸送道路の機能の確保が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ※四国圏広域地方計画（H28.3） ・圏域の安全・安心を支える基盤として必要不可欠なインフラである四国横断自動車道、高知東部自動車道及び阿南安芸自動車道等の整備の推進による四国8の字ネットワークの形成を目指す。 ※四国地域新広域道路交通計画（R3.6） ・規格の高い道路と一般国道等の一般道とのダブルネットワークを構築、規格の高い道路のミッシングリンクの解消を進めて多重性・代替性を確保する。
住民生活	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県西南地域には第三次救急医療施設が存在しないため、重篤患者は約60km以上離れた市立宇和島病院へ救急搬送が必要。 ・当該地域唯一の緊急輸送道路である国道56号を利用しているが、宿毛新港IC～一本松ICの並行区間には、急カーブが多数あり、患者の負担となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ※四国圏広域地方計画（H28.3） ・自然災害発災後の救助・救急、医療活動等やサプライチェーンの寸断回避を図るため、四国8の字ネットワークの形成を目指す。 ・地域に即した「コンパクト+ネットワーク」の構築を図るため、都市の生活を支える都市機能（医療・福祉・子育て支援・教育文化・商業）をまちの拠点となるエリアへ誘導する。
地域経済 地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県、愛媛県全体の観光入込客数は増加傾向。一方、宿毛市が位置する幡多地域、及び愛南町は観光入込客数は減少傾向。なお、四国広域観光周遊ルートは地域の観光資源を活かした周遊観光の促進に取り組んでおり、幡多地域・南予地域の広域周遊のための移動時間短縮が課題。 ・当該地域は全国上位の養殖マダイの生産地であり、特に宿毛市・愛南町は、産地加工や地域ブランド戦略による高付加価値化に力を入れている。販路拡大に向けて、生産地や加工場から県外の大消費地や便数が多く最終便も遅い松山空港まで急カーブや縦断勾配など線形不良区間を通過するため、速達性などの輸送効率の改善が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ※四国圏広域地方計画（H28.3） ・広域観光周遊ルートの形成により複数の県を跨がって、テーマ性・ストーリー性を持った一連の魅力ある観光地をネットワーク化。 ・圏域内外の交流活性化、物流基盤機能強化等による活力と魅力の向上に必要不可欠なインフラとして、四国8の字ネットワークの形成を目指す。 ※第4期高知県産業振興計画 ver.2（R3.3） ・宿毛湾産の水産物（養殖ブリ、直七マダイ等）を活用した商品開発及び販路拡大
その他		

事業の有効性									
<p>・当該事業の実施により、主要拠点間のリンクの評価がCランク→Bランクに改善するとともに、不通リンクの解消によりネットワーク全体の防災機能が強化される。</p> <p>・また、本事業において、災害時にも機能する信頼性の高い高速ネットワークが形成されるとともに、速達性向上による観光振興や地域産業支援、高度救急医療などが行える高次救急医療機関への搬送時間短縮に寄与するなど、有効性の高い事業と評価できる。</p>									
道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱度 の変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	愛媛県庁	宿毛市	72 (2)	0.72 [C] 〔0.52〕 [C]	0.31 [B] 〔0.54〕 [C]	932.32 (4.18)	0.21 (0.06)	0.46 (0.00)	◎ (○)

事業の効率性
<p>・計画段階評価手続き完了（平成31年2月28日）、都市計画決定手続き完了（令和3年12月10日）</p>

※道路ネットワークの防災機能の上段の値は、いよ小松JCT～高知JCTを対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の防災機能評価結果。